

加藤大平選手

特集

バンクーバー冬季オリンピックノルディックスキー複合団体

6位入賞祝賀会開催



応援団を代表して牧さん(字福原)から花束を受け取る加藤選手

5月8日恵み野ホールにおいて、バンクーバー冬季オリンピックノルディックスキー複合団体入賞祝賀会が開催されました。

祝賀会は、「加藤大平選手後援会」の主催で開催され、町内外から後援会の会員やスキー関係者約140人が出席し、加藤選手の功績をたたえました。

はじめに塚崎正後援会長が「オリンピック当日は、個人戦を含め計3回、恵み野ホールを会場に未明にも関わらず、延べ300人を超える人が集まり応援会を開催し、また現地にも町民15人、町外3人の計18名の応援団を派遣し町をあげて応援することができた。そうした中、加藤選手は、期待どおりの活躍を見せてくれた。団体6位入賞に大きく貢献してくれた。これから4年後のソチ五輪に向け応援していきたい」とあいさつしました。

その後、オリンピックでの活躍を映像で振り返り、コンバインド全日本チームコーチ富井彦氏が戦況報告を行いました。その中で「加藤選手は、はじめの個人戦ではだいぶ緊張している様子だったが、団体戦では130m越えのジャンプを見せてくれ、更に、距離でもトップとの差を詰める魂の走りです。団体入賞に貢献してくれた。その実績は評価しているが、本来の力であればもっと上に行ける才能を持っているので、より上を目指してこれからも頑張ってください。」以前から膝の故障を抱えたまま競技に臨んでおり、万全の体制で4年後のソチ五輪を目指すため、今オフにもいきって手術をしている。」とオリンピックでの加藤選手の様子や近況が報告されました。



加藤選手は、オリンピックを振り返り、「第一声は、悔しいでした。今の実力では、個人でメダルを狙うことは、不可能だと思っているが、団体では、世界選手権の時のように十分メダルのチャンスはあったと思っっている。最低限の仕事はできたと思っただけではだめなんだと改めて思っています。これまでは、1年1年での目標でやってきたが、今は4年後のソチ五輪が目標です。4年間で強くなつてメダルを目指したい」と決意を述べるとともに、「大会中、現地まで応援団にきていただき、その応援も僕の応援が一番すごかったと思います。そして地元でもたくさんの方に集まって応援していただき、競技では世界一になれなかったけど、和寒町の応援は世界一だったと思います。4年後のソチ五輪でも応援よろしくお願ひします」と感謝の言葉を述べました。

4年後のソチ五輪でも活躍が期待されます。



応援団のレポート

バンクーバーオリンピック「加藤大平選手」応援団応援日誌

鈴木 諭

バンクーバーオリンピックに今回、加藤大平選手の和寒町応援団の一員として参加させて頂きました。応援団を代表して5日間の応援活動を報告します。

2月22日(月)朝9時に役場庁舎前に総勢17名の応援団が集合し、伊藤町長をはじめ、有志の皆さんの激励を受け、塚崎応援団長を中心として9時30分に出発。

成田空港を午後5時40分に旅立ち、8時間30分の空の旅へ。現地時間2月22日(月)9時(日本より17時間の時差)バンクーバー空港に到着。(皆さん睡眠不足です。)快晴にて気温も10度程度。雪はまったくなし。北海道の5月上旬の気候。現地ガイド中川さん(女性)の指示に従いバスにて市内レストランへ移動後昼食。(市内には桜も咲いている様子。)食事を終えてカーリング会場へ。女子カーリングの試合を眠いのを我慢し声を張り上げて応援。(オリンピックの雰囲気、会場は8,000人程度、地元カナダの人が殆どです。)観戦後、午後6時30分市内レストランにて「下川町との合同懇談会」。下川町の皆さんは明日帰国するとのことで、安堵とお疲れの様子。懇談会終了後、午後9時30分にホテルへ到着。明日は朝5時に出発とのこと。皆さん静かに就寝。

2月23日(火)朝5時ホテルを出発。市内発のシャトルバス(オリンピックの為のバス)でウイスラーのジャンプ会場へ向かい、2時間後に到着。(層雲峡のような感じ。皆さんは元気です。)今日は複合団体競技(ラージヒル)。雪不足のためかジャンプ台周りのみ雪があるだけ。会場は各国の人たちでいっぱい(5,000人程度)。午前10時よりジャンプ競技が開始。期待に応えるかのように加藤選手は130mを超えるジャンプを記録。和寒応援団は大拍手で歓喜!

日本はトップと41秒差の4位。ジャンプ競技が終了し、徒歩で20分ほどのノルディック会場へ(皆さんはメダルへの期待に元気いっぱい。)競技が始まると、加藤選手はトップと20秒差に詰め寄るも、最後は1分14秒差の6位で終了(残念、でも世界の6位です)

会場をあとにして、午後6時30分に市内レストラン(日本人経営の店)へ。皆さん加藤選手の大活躍に興奮の様子。テレビ放送にてフィギュアスケートの浅田選手の活躍にレストラン内は大いに盛り上がった。午後10時30分にホテルへ到着。明日は市内観光です。

2月24日(水)、朝8時に出発し市内観光へ。(皆さん、応援の疲れを癒された様子)

2月25日(木)朝5時にホテルを出発。今日は個人戦ラージヒル。ジャンプ会場に午前8時30分に到着。昨日より天候不順で、ジャンプ競技も悪天候により途中で延期。選手達も悪天候の為か低調でした。和寒応援団の大声援も叶わず残念な結果。

(皆さんゆっくり静養)また、和寒応援団の精力的な応援に、伊藤義郎IOC会長も会場に駆けつけ激励に。侍の仮装をしていたメンバーは各国の注目の的で、写真撮影に引っ張りだこ。

2月27日(土)成田空港へ午後2時30分に到着。新千歳空港を経由し和寒町へ。役場庁舎前に午前12時頃到着し、それぞれ自宅への帰路につきました。

4泊5日の応援日誌でした。



◆◇バンクーバーオリンピック スキーノルディック複合競技成績◆◇

日本選手分

ノーマルヒル個人

- 7位 小林 範仁 東京美装 秋田県
- 21位 渡辺 暁斗 早大 長野県
- 24位 加藤 大平 サッポロノルディック 和寒町
- 27位 高橋 大斗 土屋ホーム 秋田県

ラージヒル個人

- 9位 渡辺 暁斗 早大
- 26位 湊 祐介 東京美装 札幌市
- 27位 小林 範仁 東京美装
- 30位 加藤 大平 サッポロノルディック

ラージヒル団体

- 6位 加藤大平、小林範仁、高橋大斗、渡部暁斗 (ジャンプ4位、距離6位)